



お誕生日を
アペリティフで
気軽に祝う！

いきなりメールで「今どこにいるの？ 今晚もし空いてたら僕のバースデーをアペリティフでやるから来ない？」と連絡してきたのはステファン。4年くらい前に上海へ出張した時、同じデザイン業界で仕事していた彼は当時、頻繁に上海へ出張していた中国通で、2日間あちこち案内してくれた。しかしお互い忙しく、それ以来ほぼ音信不通だった。

3月11日の地震直後にステファンが心配してメールをくれ、中国で築いた人脈で中国人ターゲットの不動産業に転身したことを知った。以来、近況を連絡しあうようになり、前回のパリ滞在中に気軽なバースデーアペリティフのお誘いメールをもらった。実際に会うのは上海以来だけど、気軽なお誘いは気軽に受ける... 早めに到着した私に、彼はアパルトマンを案内してくれた。学生時代に過ごしたメキシコの民芸品や上海時代の絵などが飾ってあるサロンで...

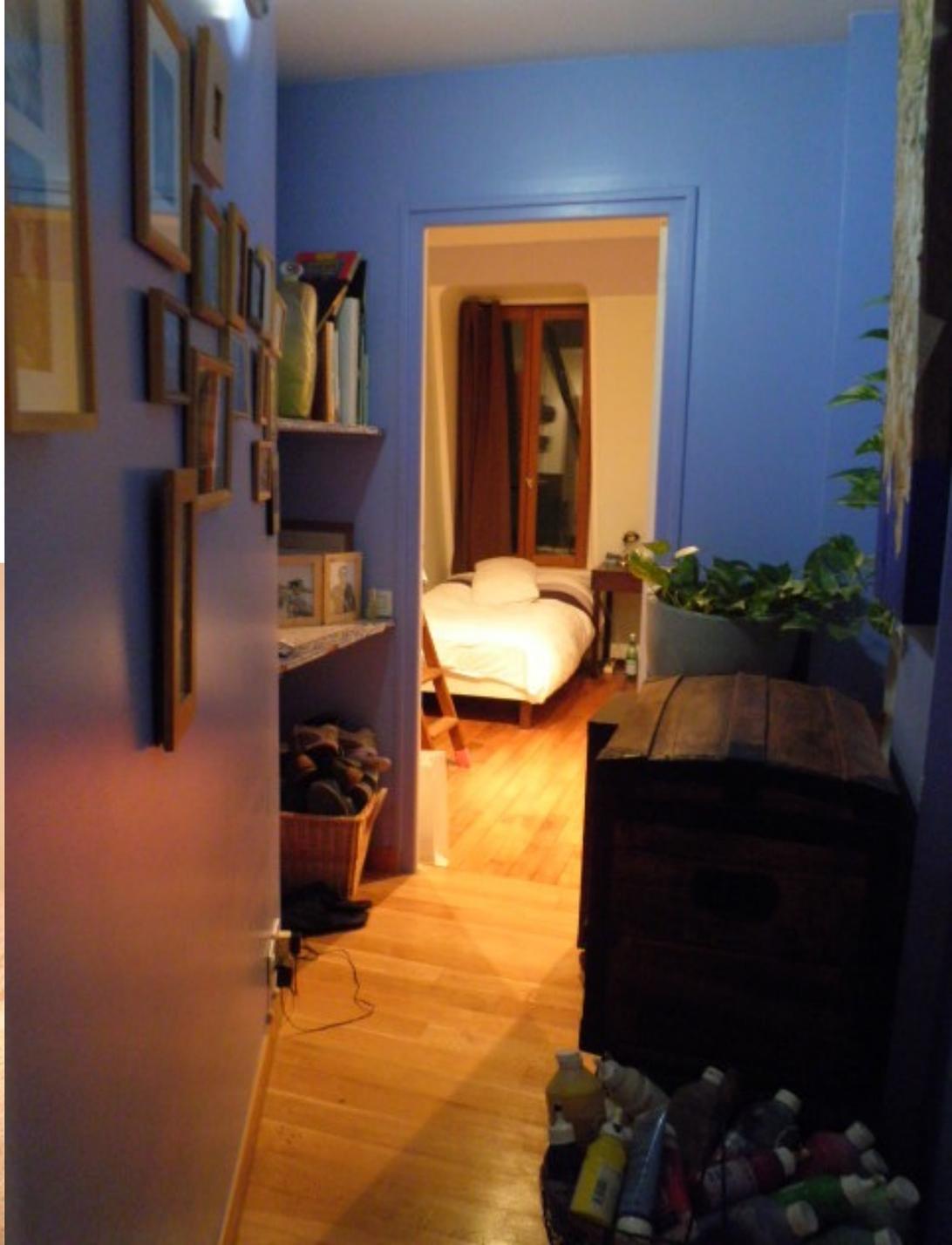


中庭に面したサロン左手のテラスは、かなり広く、沢山の植木でパリとは思えない様相を呈している。

フランスはDIY好きが多く、田舎の家を手作りしたという強者から、ペンキ塗りや壁紙の張替など、節約も兼ねて自分でやる人は多い。

このステファンのアパートマンがある最上階は、昔シャンブル・ド・ボンヌ(お手伝いさん)用の小さな部屋ばかりのフロアだった。彼はそんな小部屋をひとつずつ買い足していき、全部つないで大きなアパートマンにしてから、内装も少しずつ時間がある時に自分でしたと言う。大変な作業をコツコツ楽しみながらやっちゃうんだからスゴイ!と目を丸くして驚くしかない...

真中の髪の長い女の子が次女のクララ6歳。
ママにそっくりで痩せておしとやかな女の子。
自分のお部屋でお友達と一緒に遊んでるところを
お邪魔しました。男の子はゲームに夢中...





ステファンと奥さんシルヴィーの寝室
シルヴィーは香水を中心に仕事するパッケージデザイナー

長女のルーズは16歳、とっても成績が良く、将来は* Grandes Écoles(グランゼコール)を目指していて猛勉強の毎日らしいが、乗馬も大好きで沢山の賞をもらっている。パパ・ステファンの自慢の娘だ。



* Grandes Écoles(グランゼコール)
グランゼコールへの入学を希望する学生は、名門中高一貫校でバカロレア資格取得後に、進学コースのような環境で猛勉強することになるが、グランゼコール準備学級に進学できる学生の数は制限されている。準備学級は2年間だが、1年から2年への進級は難しく、また卒業もかなりの難関。ひたすら猛勉強の毎日となる。準備学級を卒業した学生は、小論文形式の筆記と面接の試験を受け、グランゼコール合格の暁には、聴講官という国家公務員相当となり、国から給金が支給される超エリートとなる。卒業後は専攻した分野のエリートとなり、実際に政官財学の分野ではグランゼコールの卒業生が多く活躍している。



スティック野菜やガッカモーレなどのディップにワイン、ご近所さんも子供連れでワイワイ集まり、オシャベリして過ごす... 子供にはピカールのミニピザ、デザートもピカールのチョコレートケーキとベリーのみースケーキ...お金も手間もかけず、気軽に友人を自宅に招待するというのがパリの日常だ。ちなみにガッカモーレはメキシコ暮らしをしたステファン自慢の一品、酸味も程よく、ピリッと辛くて美味しかった。





小部屋を繋いだサロンはL字型で、ここはサロン右手前のスペース。
窓横の額はステファンが上海で買ったもの、よく見ると漢字が横書き...
横長の絵を縦に掛けている！



ピカールのデザートは秀逸よね～
チョコレートケーキもベリームースのケーキも甘過ぎず、とっても美味しい。
最近食べて美味しかったピカールの冷凍食品について、ひとしきり話が盛り上がる。
パンケーキが最高に美味しいと聞いて、翌日早速ピカールに直行。パリで太ってしまうのは、ピカールのせいです…

